

◎ 紀要について

1 『朝鮮通信使地域史研究』創刊号 (NPO 縁地連朝鮮通信使関係地域史研究部会、2015 年 10 月刊行)

[研究論文]

- 仲尾 宏 宗成職島主期の日朝関係 —『宗氏世系私記』の記録を中心として  
貫井 正之 孫文或試論  
信原 修 雨森芳洲の思想の重層性 —伏流水としての禪—  
上村 順造 朝鮮人国役令の変遷について  
笥 真理子 名古屋と通信使 —尾張藩の応接体制を中心に—  
町田 一仁 朝鮮通信使と江戸御馳走役 —宝暦度の事例—  
片山真理子 金義信の墨跡「妙喜庵」をめぐって —附〈影印〉『拾遺扁額要覧』—

[研究ノート]

- 盧 桂順 朝鮮通信使が出会った「栗屋の娘」を巡って —申維翰『海游録』の記事を手掛かりとして—  
岡部 良一 小通事・朴徳源の再検討

[資料報告]

- 今村 公亮 相島通信使関連史跡調査の近年の成果 —享保四年七月二十四日大風破船・溺死事故を中心に—

※ 残部なし。ホームページ掲載。

2 『朝鮮通信使地域史研究』第 2 号 (NPO 縁地連朝鮮通信使関係地域史研究部会、2017 年 11 月刊行)

[研究論文]

- 大澤 研一 通信使川御座船の船団編成について  
河 宇鳳 通信使行の文化交流の新しい様相 —一七六三年癸未通信使行を中心に—  
李 眩周 朝鮮通信使ユネスコ登録対象の絵画研究  
北村 欽哉 清見寺における朝鮮通信使扁額(板額)群の成立について  
郷司 泰仁 通信使随行画員・韓時覚に関する覚書  
片山真理子 八条宮智仁親王の桂離宮造成と月波楼扁額について

[研究ノート]

- 貫井 正之 鳥山牛之助と朝鮮通信使  
岡部 良一 朴徳源に関する新史料考  
今村 公亮 宝暦度朝鮮通信使と福岡藩 —副使船事故処理を中心に—

[資料紹介]

山田 雅彦 多胡碑について

3 『朝鮮通信使地域史研究 ―活動報告―』第2号別冊 (NPO 縁地連朝鮮通信使関係地域史研究部会、2017年11月刊行)

[総論]

仲尾 宏 朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産 (世界の遺産) 登録 ―経過と課題―

[事例報告]

仲尾 宏 対馬市 現代の交隣促進へ

町田 一仁 朝鮮通信使に対する取り組み 下関

戸田 和吉 朝鮮通信使の現代的役割と地域の活性化 ―鞆の浦の場合―

佐々木悦也 雨森芳洲関係資料の伝来と芳洲の思想を受け継いだ長浜市の取り組み

[研究資料]

仲尾宏監修 朝鮮通信使研究等文献目録 (2006～2016年) 韓文・日文

※ 第2号は本冊・別冊ともに残部あり (お問い合わせ先: 町田一仁 090-4575-9975)